

虹の大樹

JAさっぽろコミュニケーションマガジン
「にじのたいじゅ」

2024年
9月号
NO.3111

協同組合という
虹のもと、
大都市に深く
根を張りそびえる
大樹のような
JAで
ありたい——

今月の特集

札幌の農業を知る・伝える

札幌農業の魅力を広めよう！

女性部本部役員 日帰り現地研修バスツアー



空心菜の収穫作業
Photo by SOGA Takahiro



家族で取り組む 楽しい農業が 永遠に続きますように。

北札幌地区組合員

あらきてつや
荒木徹也さん

本誌が荒木農園を取材してから8年。生産物・気候等さまざまな変化の中、当時と変わらず家族で農業を楽しむ荒木さんを再び追いかけた。

少量多品目栽培に たどりついたのは

「農業が楽しくて仕方がない。挑戦し続けるのが楽しむコツかな。嫌な作業は1つもないからね。」

日差しが燦爛と照り付ける8月。札幌市東区にある荒木農園を訪ねると、開口一番、屈託の無い笑顔でそう話してくれた。

荒木さんは、この地区で代々農業を営む農家の5代目にあたる。3年間の会社勤めを経て、25歳の時に就農。10年程、外で修行してから跡を継ぐ予定だったが、父が体調を崩したことで想定より早い就農となった。冒頭の言葉からもわかるように、農業を心から楽しむ荒木さんだが、ここまでの道程は決して順風満帆ではなかったという。

「就農5年目に、当時メインで栽培していた春菊が、連作障害でほとんど収穫できなくて…心が折れそうになったね。」

そんな苦境の中でも、ひとりで悩まず家族で話し合ったこと

が転機となった。契約栽培の加工用トマトへ切り変えてはどうか。それに踏み切ったことで活路が生まれ、収入も安定。この経験が、リスク管理を念頭に置いた少量多品目栽培にたどりついたきっかけだった。

3本柱でリスク分散！ 挑戦枠で選んだ作物が…

8アールの畑で作られているのは、ミニトマト・苗物・空心菜の「3本の柱」に加えてじゃがいもや玉葱、生姜など。この3本の柱を主軸とする作付けが、荒木さんがリスク分散の方法として考えた策だ。2品目は安定生産できるものを選び、年間収入を賄う。残りの1つは挑戦枠として、他の生産者と差別化を図れる品目を選ぶ。この策の良い所は、いずれかの作物が不作でも収入が安定することと、挑戦し続けられることだ。

現在の挑戦枠は「空心菜」。東南アジアを代表する作物で、暑さと湿度が必要。ハウス内の温度は約55度、作業は短時間に



1



3



5



4



6



2



7

1. 今から8年前、本誌に掲載した荒木さん夫妻のお写真 2. 時計台が描かれている空心菜の野菜袋 3. 荒木農園では、ミニトマトは奥様の晶子さんが担当。品種などは晶子さんと徹也さんの妹さんで決めている 4. 真っ赤に実った完熟のトマト 5. 空心菜は、茎の中が空洞になっている事が名前の由来 6. 暑さに強く生育が旺盛な空心菜 7. 会話をしながら作業を楽しむ荒木夫妻

集中して行なう必要がある。例えば収穫は1回の作業時間を10分程度とし、2・5kgの収穫を数回に分けて行なう。高温多湿のハウス内は息苦しく、数分で大粒の汗が噴き出す。30℃の外気温が涼しいとすら感じるほどだ。

「今日は涼しい方だよ。今年もこの1か月で10kgくらい体重が落ちたんじゃないかな。」

過酷な状況を笑顔で話しながら、淡々と収穫作業は続いた。

空心菜は札幌近郊での栽培が少なく、ノウハウも確立されていない。5年前から栽培を始め、試行錯誤を繰り返している最中だというのが、実はこの空心菜が、挑戦枠から少しずつ堅実路線へとシフトしているというから驚きだ。

家族で過ごせる 農業の時間を楽しむ

そ菜部会の支部長や青年部の役員を歴任しているのは、農業を営む仲間と協力し、食育等の「出来ること」をしていきたいという想いが強いから。何事も楽しみながら、という姿勢で取り組む姿に人望も厚い。

今後の展望を尋ねると、「人が作っていないもの、とにかく新しいものを探し続けて挑戦したい」という答えが返ってきた。現在も、北海道では珍しい生姜を栽培している。自家栽培の生姜から、生姜シロップやジンジャーエールを作ってみよう！というのは、奥様の晶子さんのアイデア。何を作付けするかはもちろん、使用する農業の1つに至るまで相談し、2人で決める。荒木さんの良き理解者であり同志でもある、最も頼れる存在だ。

農業が楽しい一番の理由は、家族と常に共に過ごせ、何事も相談しながら取り組めるから。先代の時代から、家族が仲良く賑やかに農業を営む姿を見て育ったためか、中学生の息子さんが跡を継ぎたいと話すと、あると、目を細めながら話してくれた。

農業を心から楽しむ二人が、見つめる未来はただ一点。これから先も家族で楽しい農業を続けていきたい。ご夫婦の想いが引き継がれ、自然体で農業を楽しみながら家族の様子が目に浮かんだ。

札幌農業の魅力を広めよう！ 女性部本部役員 日帰り現地研修バスツアー

「札幌の多岐にわたる農業を知り、その魅力を伝える一端を担いたい！」。女性部本部ではそのような思いで、青年部員や関係各所の協力を仰ぎながら市内の農業を「知る」ための日帰り現地研修バスツアーを企画実施し、今年で3年目を迎えました。

今回の特集では、女性部本部役員の方々が巡った訪問先を、皆さんが「聞いたこと」「感じたこと」を交えながらご紹介します。南区豊滝から滝野を抜け、清田区有明までを巡った一日を、さあご一緒に！

令和6年8月6日(火)



参加者…女性部本部役員 22名
広域女性理事 2名

総勢 24名

START

9:30 本店を出発

1 10:10 「とれたてっこ南」生産者直売所

2 10:55 観光農園「アルシェフェルム」

3 12:40 市立札幌みなみの杜高等支援学校

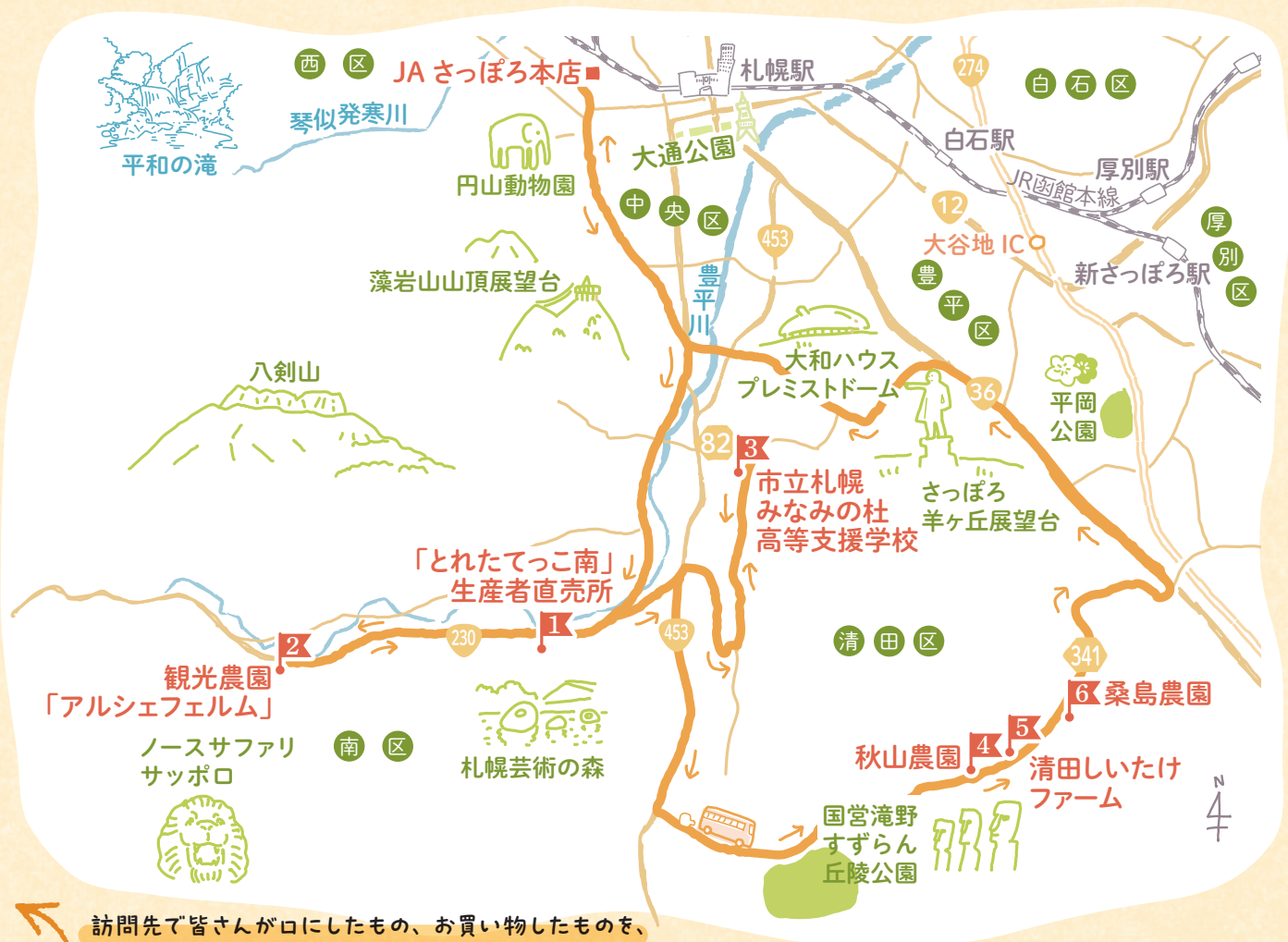
4 13:30 秋山農園

5 14:00 清田しいたけファーム

6 14:40 桑島農園 (ちょっと寄り道)

16:25 本店に到着

GOAL



訪問先で皆さんが口にしたもの、お買い物したものを、
食べた感想とともに紹介しています！

1 「とれたてっこ南」生産者直売所

南支店に隣接する「とれたてっこ南」生産者直売所へは、本店から車で約40分。同地区で小松菜を生産する青年部員・今村哲平さんが今年の6月に出演した「あぐり王国北海道NEXT」のVTRを観ながら移動しました。

到着後は経済部の藤田遵係長から、「南区は小松菜などの野菜のほか、果樹類の生産も盛んな地区。直売所では、南区産のほか、他地区とも連携を取りさまざまな札幌産・石狩産の農畜産物を取り扱っているの、お買い物存分に楽しんでください！」との説明を受け、お買い物タイムへ。同直売所で販売している南支部・荒井支部長の「切り干し大根」は歯ごたえ抜群の人気商品。酢の物や煮物がオススメのことです。



今村農園の「小松菜」

「とれたてっこ南」生産者直売所のほか、市内スーパーで購入可能。

本部役員の感想 /

強い甘みを感じました

シャキシャキ感を残したまま、根元までいただきました



荒井農園の「切り干し大根」

「とれたてっこ南」生産者直売所で購入可能。(今年度は完売しました。次年度をお楽しみに)

本部役員の感想 /

この歯ごたえは唯一無二

手作りならではの優しさを感じました



古川農場の「古川ポーク」

「とれたてっこ南」生産者直売所、「とれたてっこ西」直売所で購入可能。

本部役員の感想 /

脂に甘みがあり、くどくないので食が進みました



アルシェフェルムの「ブルーベリー」

毎年7月末～8月中旬まで購入可能。

本部役員の感想 /

農園を実際に見せてもらい、ここに至るまでの苦労を耳にしてからの大粒の実、格別でした



2 観光農園「アルシェフェルム」

昼食は南支部・小仲副支部長が経営する観光農園「アルシェフェルム」で。屋根付きテラスの下、荒井支部長と小仲副支部長が用意してくれた南区産野菜と、古川ポークや地物市場「とれのさと」の味付きジンギスカンを七輪の炭火でいただきました。

食事の前には、62歳で就農した小仲副支部長が、このアルシェフェルムを現在のような観光農園として軌道にのせるまでをお話いただき、「その行動力に元気をもらった！」と話す方も。

古川ポークは札幌唯一の養豚場・古川農場で生産されるお肉。あの藤井聡太棋士も勝負飯として口にしたことでも話題となったものです。今回は肩ロースを用意。各テーブルから「おいしい！」の声があがり、野菜もお肉も大好評でした。

※地物市場「とれのさと」の味付きジンギスカンは、本誌23ページで紹介しています。

観光農園「アルシェフェルム」

南区豊滝 420 番地 1 TEL:090-8900-2621

さくらんぼ狩り、ブルーベリー狩りのほか、丁寧に育てた少量多品目の野菜・果物を直売しています。

バーベキューコーナーは50名まで利用可能。料金・内容については事前にお電話でのお問い合わせ、ご予約がお勧めです。



3 市立札幌みなみの杜 高等支援学校

同校は平成29年に開校した高等支援学校。生徒の特性や将来の就労希望などに柔軟に対応するため、道内では初の普通科職業コース制を採用しており、165名の生徒が野菜や果物等の栽培や木工等の加工作業、カフェの運営、清掃作業や電子機器の解体など、さまざまなコースで地域との交流を図りながら学んでいます。

女性部本部とは、令和3年度より本部役員が講師を務め、「漬物講座」を開催してからのご縁。授業で伝えた漬物のレシピは、生徒たちがアレンジを加え、生徒が運営しているカフェで提供されています。



夏休み期間中のため、カフェもお休み。「生徒が作ったものを食べてもらいたかったのですが」と高田司志先生に提供いただいたのは、厚別地区小林牧場の牛乳を使用した牛乳プリン。調理実習でランドホテルの総料理長から学んだレシピに、生徒たちがアレンジを加えたものだそうです。



牛乳プリンは残念ながら販売されていません。今後カフェのデザートとして提供されるかも？

営業日は同校のホームページで確認してください。

杜 cafe

南区真駒内上町4丁目7-1

<https://www23.sapporo-c.ed.jp/minaminomori/>



4 秋山農園

青年部員・秋山祐亮さんが営む秋山農園は、「バッグ栽培」という方法でミニトマトを生産しています。バッグ栽培とは、トマトの苗を1本ずつ、袋に入れて栽培する方法。バッグには完成された土を詰めるため、生育が土に左右されないのが利点です。地産地消が理想ではあるものの、生計を立てるため沖縄への出荷が主。輸送費を考慮しても、需要と供給のバランスが取れる沖縄への出荷が、現在は最も良い選択になってしまふ…というお話を伺いました。



ハウスを見せてくれた秋山さん(右)。本部役員からは「想像もしていなかった栽培方法」「雨の日でも、短靴でハウスに入れるね」「地元で販売できる日が来るといいですね」といった声が聞かれました。



本部役員感想 /

皮に厚みがあり、甘さはさすが！という感じでした

色・ツヤ・形・お味と全て揃ったミニトマトでした



バッグ栽培の様子。赤いネット越しに撮影したため、ちょっと見えにくいのですが…。

5 清田しいたけファーム

青年部員・嶋川正洋さんが営む清田しいたけファームでは、「清茸」のブランド名でしいたけや生きくらげを生産・販売しています。「清田区有明の、きれいな水を与えて育てた肉厚のしいたけは、一度食べたらもう皆さん、やみつきになること間違いなし！」と嶋川さん。生きくらげは、市販されているものは乾燥で、その9割は中国産。生を食べるのは初めて、という方が大半です。お勧めの食べ方を聞くと、熱湯にくぐらせ、冷水でさっと締めてからキッチンペーパーで水分を取り、わさび醤油・生姜醤油・ポン酢などで食べるのが良いとの回答。ちなみにしっかりと火を通すと、乾燥生きくらげに近い食感が楽しめるそうです。

生きくらげの「菌床」を手にと、どのように菌を植え付け、収穫を行なうのを見せてくれた嶋川さん(左)。収穫はひとつひとつ手で取らない、収穫したての生きくらげは、なぜか鉄のような匂いがするとの説明に、興味深々な本部役員の皆さんでした。



清田しいたけファーム

清田区有明298番地 TEL:011-802-5557

営業日は清田しいたけファームのホームページで確認してください。

<https://m-taishin-kinoko.raku-uru.jp/>

「とれたてっこ厚別」直売所、「とれたてっこ西」直売所でも販売中。

本部役員感想 /

しいたけの肉厚感にびっくり！食べ応えがありました

生きくらげ、食感が良く驚きました。オススメの食べ方で食卓へ、家族にも好評でした



6 桑島農園

青年部員・桑島誠さんが営む桑島農園では、ほうれん草を生産しています。「清田区有明」・「ほうれん草」といえば「ポラスター」。ポラスターが「品種」ではなくこの地区で生産されるほうれん草の「ブランド名」であること、春・夏・秋で生育期間が異なるため、種を変えて対応していることなどをお話いただきました。

もともと豊平区西岡で営農していた桑島家。道路拡張に伴い、周辺の農家数件とともにここ有明に農地を求め、栽培期間が短いこと、重量がないため身体への負担が比較的少ないことなどを理由のひとつとして、地域で作付けするほうれん草栽培に参加したそうです。

このようなお話を受け、本部役員の方からお話を聞いて、ますます店頭で手に取る機会が増えると思うなどの声が聞かれました。



農作業の合間を縫って、車内で10分ほど生産に関するお話をしてくださった桑島さん。

本部役員のご感想 /

アクが少なくきれいなほうれん草

茹でて、炒めて、おいしくいただきました

ポラスターのパッケージは、羊のイラストが目印です。



「とれたてっこ厚別」直売所
「とれたてっこ西」直売所
くるの社などで
購入いただけます！

お昼には、南区簾舞で南区産の野菜・果物を使用して作るお持ち帰りスイーツ&カフェを営む阿部芳美さんが、「ズッキーニのケーキ」と「さとほろいちごのクッキー」をアルシェフェルムまで届けてくれました。



FARM STAND ABE
南区簾舞3条3丁目4-17
TEL:090-5313-1769
☎ 土・日・祝・月・火(不定休あり)



ファーム スタンド アベ
阿部さんが営む「FARM STAND ABE」は、ひいおじいちゃんが建てた古民家を改装して作ったお店。「季節のものを、おいしく皆さんに食べてもらいたい」と話す阿部さん。ズッキーニのケーキは、その甘味を活かしてお菓子を作りたいという思いから考案したこと、食感を良くするためにクルミなどを入れていることなどをお話いただきました。

本部役員のご感想 /

ズッキーニが焼き菓子になるとは思ってもみませんでした。自然な甘味で食べやすかったです



この研修で「知った」札幌の農業を、伝えていきます！

観光農園「アルシェフェルム」のバーベキューコーナーから撮影。あいにくの曇り空でしたが、八剣山を眺めながら七輪で焼くお肉…最高です。ぜひ皆さんものんびりした時間を過ごしに、訪れてみてください。



札幌市中央卸売市場で初セリ開催!

「大浜みやこ」・「早出特選馬鈴薯」・「サッポロスイカ」



初セリに立ち会った「大浜みやこ」生産者の皆さん。



7/23(火) 大浜みやこ

昨年同様、秀品5玉8万円の最高値!

例年並みの日程で初セリ開催となった「大浜みやこ」は、秀品5玉10kgが8万円と、昨年と同額の最高値が付きしました。

「大浜みやこ」は、手稲山口や石狩市の一部で栽培されるブランドかぼちゃで、検査員の厳格な基準に合格した質の良いものだけを「大浜みやこ」として市場へ出荷しています。澱粉質を多く含むホクホクした食感で、贈答用としても人気の南瓜です。

今年は生産者8名、作付面積は約630アール、75トン収穫し、9月中旬までの出荷を予定。例年に比べ、3月の播種・育苗時期から6月末までの間の気温変動が激しく、積算温度・日照不足が心配されていましたが、順調に生育し、全体的に綺麗な仕上がりになりました。

7/25(木) 早出特選馬鈴薯

関東産切り上がりの影響受け高値での取引!

石狩地区の「早出特選馬鈴薯」の初セリが行なわれました。今年は関東産出荷の切り上がりが早くなり、道内産への切り替わりが例年より早く、高値での取引となりました。

馬鈴薯は4月に種芋の植え付け作業が始まり、その後の天候にも恵まれ順調に生育。7月6日(土)に現地検討会と目慣らし会が行なわれ、初出荷日が決定しました。初出荷の品種は「とうや」・「きたかむい」、8月からは「男爵薯」・「キタアカリ」と続く予定です。(金安特派員)



食用馬鈴薯部会役員の波多野正輝さん。

8/3(土) サッポロスイカ

昨年の倍額! 秀品2玉に2万円の最高値

例年並みの日程での開催となった「サッポロスイカ」の初セリでは、3Lサイズの秀品2玉に昨年の倍額・2万円と、近年にない最高値が付きしました。

サッポロスイカは大浜みやこと並ぶ手稲山口の特産品。砂地の畑で栽培され、果実のしまった肉質と朝晩の寒暖差が引き出す抜群の甘味に定評があります。

今年は生産者1名、作付面積は約65アールで、9月中旬までの出荷を予定しており、札幌市内のスーパーや百貨店などで販売されます。

振舞われた試食用のスイカは「甘〜い!!」と大好評でした。



果実部会・松森剛部会長(中央)と、共に生産を行なう息子の諒さん(左)、PRを担当している諒さんの奥様・咲季奈さん(右)。

まつり開催! 協賛! 2地区で



8/4日

JAまつり、大いに賑わう
地域住民が多数来場

厚別支店

厚別支店でJAまつりが開催され、地域住民の皆さまが多数来場されました。屋外での開催のため、雨天や炎天下が心配される中、曇天で最高気温も26度予報と絶妙なコンディションとなり、午前10時の開会から午後2時の閉会まで、大いに賑わいを見せました。

ステージでは、平岸天神太鼓や演歌歌手・彩川さくらさんの歌謡ショー、来場者の皆さまにご参加いただく「とうきび早むきゲーム」やチャリティ募金抽選会が行なわれ、来場者は、青年部・女性部コーナーで購入した飲食物を口にしながら催し物を楽しんでいました。



青年部の焼き物コーナー。焼き鳥・焼きそば等の美味しそうな匂いが漂い、昼前には全品完売となりました。



女性部では、ゆでとうきび・枝豆・いもち等を販売。会場で楽しむビールのおつまみに、ご自宅へのお土産にと、多くの方が買い求め大盛況でした。

- 7/15(月)・祝 八軒ふれあい祭り
- 7/27(土) 八軒中央納涼まつり
- 8/3(土) 二十四軒第七町内会夏祭り

琴似支店

地域交流とJAのPR活動
琴似3大祭で農産物販売

琴似支店では、地域との交流および地元産農産物とJAのPRを兼ね、琴似地区で開催される地域のお祭りで農産物の販売を行ないました。

各日とも、小別沢地区で収穫された農産物を中心とした野菜販売コーナーを設け、来場された地域の皆さまと交流を深めながら「JAさっぽろ」のPRを行ないました。

札幌らしい、少量多品目を揃えた野菜販売は大変好評でした。琴似支店では引き続きこのような地域交流・PR活動に努めてまいります。(河村特派員)

地元産農産物の「安全・安心」を伝えながら販売。「目移りしちゃう」とお客さまから大好評でした。



二十四軒第七町内会夏祭りは、午後四時からの開催。風流な提灯の明かりの下でのPR活動でした。

7/5(金)

資産管理部会 手稲支部
**合同日帰り研修で
 ウポポイと白老牛を満喫**

資産管理部会手稲支部(高田信利支部長)、青色申告会手稲支部(佐々木勝男支部長)では、白老町のウポポイ(民族共生象徴空間)への合同日帰り研修旅行を実施し、会員27名と職員2名が参加しました。

先住民族であるアイヌの希少な民族文化を保存した国立博物館では、多彩な展示で歴史や文化を学んだほか、豊かな自然に抱かれたポロト湖ほとりの公園など、素晴らしい施設を見学しました。

昼食は徳寿ファーム併設の「ファームレストランKANTO」で、自社牧場で肥育された白老牛の焼肉に舌鼓を打ち、好天に恵まれた中、熱中症に気を付けながら研修を終えることができました。(佐々木特派員)



ウポポイ・ポロト湖のほとりにて。ウポポイは以前から行ってみたいと思っていたものの、訪れる機会がなかったという方が多く、たくさんの方の皆さまにご参加いただき賑やかな研修旅行となりました。

7/6(土)~8/5(月)

JAさっぽろ野球部
**【国民スポーツ大会】
 【北海道知事杯】結果報告**

【国民スポーツ大会】札幌支部大会優勝！
 北海道ブロック予選はベスト4
 【北海道知事杯】札幌支部大会準優勝！



| | | |
|--|--|---|
| <p>北海道知事杯</p> <p>1回戦 北海道スポーツ専門学校 (11-3)</p> <p>2回戦 小鍛冶組(11-2)</p> <p>決勝戦 EP札幌(8-11)</p> | <p>国民スポーツ大会</p> <p>【札幌支部大会】</p> <p>1回戦 北海道三菱自動車販売 (10-1)</p> <p>2回戦 北海道赤十字血液センター (9-0)</p> <p>決勝戦 札幌市役所(10-1)</p> | <p>【北海道ブロック予選会】</p> <p>1回戦 シード</p> <p>2回戦 登別市役所(6-1)</p> <p>3回戦 TANNOベースボールクラブ (13-2)</p> <p>準決勝 六花亭(6-8)</p> |
|--|--|---|

7/8(月)

女性部 北札幌支部
**ニセコへ日帰り研修旅行
 景色とおいしい料理を堪能**

女性部北札幌支部(土谷眞理子支部長)では、ニセコ方面へ日帰り研修旅行を実施し、部員15名と職員3名が参加しました。

「有島ダチョウ牧場」では、羊蹄山のふもとでのびのびと放牧されているダチョウへ餌やり体験を行ない、ダチョウの大きさと餌を貰いに来るその勢いに圧倒されながらも、楽しそうな笑い声を響かせていました。昼食はお茶専門店ルピシアがプロデュースするレストラン「ヴィイラ・ルピシア」で、おいしい紅茶飲み放題付きのランチを堪能。ニセコの特産品などのたくさんのお土産を手に帰路につきました。



土谷支部長は、「久しぶりのニセコ方面への旅行でしたが、前回来た時と街並みも大きく変わり、景色とおいしい料理を堪能することができました。今後も行事を通して皆さんと親睦を深めていきたい」と話していました。

(稲村特派員)



石川会長は、「久しぶりの研修旅行が実施できたことに感謝しています。このように顔を合わせる機会を大事にしていきたい」と話していました。部員の皆さんの協力のもと、終始和やかで楽しい日帰り旅行となりました。

クローバー会琴似支部(石川秋夫会長)では、北広島・由仁方面への日帰り旅行を実施し、部員14名と職員3名が参加しました。

「エスコンフィールド」では可動式の屋根が開いており、小雨模様ではありましたが、開放感のあるグラウンドに足を踏み入れて球場の迫力と広大な天然芝の空間を感じる事ができました。また、幸運にもトレーニング中の選手に遭遇し、間近で見学する事ができました。

昼食は、由仁町の「ゆにガーデン」で新鮮な野菜をふんだんに使用したバイキングを堪能。長沼町の「道の駅マオイの丘公園」や栗山町の「小林酒造」にも立ち寄り、久しぶりの研修旅行を満喫しました。(竹村特派員)

7/9(火)

クローバー会 琴似支部
久しぶりの日帰り旅行
エスコン・小林酒造等を満喫



夕方の帯番組「今日ドキッ!」のスタジオにて。小林支部長は、「多くの部員の皆さんにご参加いただき、普段お会いする機会のない方とも顔を合わせられたことを嬉しく思います。日帰り研修旅行は気軽に参加できて良い、という声もいただきましたので、今後も皆さんが参加しやすい行事を考えていきます」と話していました。

女性部厚別支部(小林徳子支部長)では、札幌近郊を巡る日帰り研修旅行を実施し、部員22名と職員5名が参加しました。

「HBC北海道文化放送」では、天気観測の施設やスタジオを見学。想像していたよりも多くの照明や機材が並んでおり、担当者の丁寧な説明に耳を傾けました。

その後は「札幌場外市場」、「とれのさと」、「ロイズカカオ&チョコレートタウン」に立ち寄り、笑顔とお土産の袋をいっぱいにして、帰路につきました。(須澤特派員)

7/12(金)

女性部 厚別支部
札幌近郊へ日帰り研修旅行
笑顔と土産いっぱいの日

資産管理部会琴似支部(池田康幸支部長)、青色申告会琴似支部(近藤克宜支部長)では、合同現地研修会を実施し、会員38名と職員3名が参加しました。

地物市場「とれのさと」を見学した後、余市へ移動。「ニトリ観光果樹園」でサクランボ狩りを思い思いに楽しみ、昼食は「縮ビュッフェダイニングふじ」でお寿司や天ぷらなどの食べ放題をお腹いっぱい堪能しました。午後からは小樽へ移動し、田中酒造株式会社を見学。余市を出る頃に降り始めた雨も嘘のようにあがり、1時間ほど小樽市内の散策も楽しみました。(谷本特派員)

7/19(金)

資産管理部会・青色申告会 琴似支部
余市方面へ合同日帰り研修
サクランボ狩りや酒造見学

ニトリ観光果樹園にて。久しぶりに企画した日帰り研修へ、このように大勢の部員の皆さまにご参加いただき、とても充実した1日となりました。



7/22(月)
~26(金)

共済部

2年目6名の職員を対象に
外務活動実践研修会を実施

共済部では、入組2年目の渉外担当者6名を対象に、清田支店管轄で5日間にわたる外務活動実践研修会(FST)を行いました。

初日は共済連札幌支所の職員が講師を務め、情報提供資料の使い方や3Q訪問活動について座学を行ない、翌日以降は実践研修として、2人1組で実際に訪問活動を行いました。

最初は緊張もあり、なかなかお客様との会話が続けられずいましたが、お互いの話法や推進方法を「見る」「聞く」ことで、モチベーションの向上やスキルアップに繋がるとても良い機会となりました。

参加者はこの研修を通じて、改めて3Q訪問活動とニーズ喚起の重要性を認識することができました。この経験を活かし、引き続き組合員皆さまのお役に立てるよう邁進します。

(玉本特派員)



共済専用の端末で、お客様へ提案する設計書を作成する吉岡職員(北札幌支店)と、アドバイスをを行なう共済部の水口課長。

7/23(火)

清田支店 西岡第1実行組合

持ち込み野菜でフレンチ料理
ディナー会で親睦を図る

西岡第1実行組合(松本泰典組合長)では、親睦を深める「ディナー会」を実施し、組合員15名と職員2名が参加しました。

この会は、同実行組合の組合員が愛情込めて育てた野菜を、皆で味わう機会を設けてはどうかと初めて企画されたもので、すすきののフレンチレストランcantine SEI(カンティーンセル)の黒滝シェフに、持ち込んだミニトマトやズッキーニなど7品目の野菜を調理していただきました。

前菜に始まりデザートまで、8品の料理に姿を変えた野菜を、お酒とともに味わいながら楽しいひと時を過ごすことができました。

(山本特派員)



会の前段では、松本組合長が進行を務め、混植で相乗効果を発揮するコンパニオンプランツや、ブルーベリーに含まれるポリフェノールのように、野菜や果物などに含まれる自然の成分・フィトケミカルについての勉強会を行いました。



にんにく、ズッキーニ、なす、ほうれん草、ミニトマトを使用した料理の盛り合わせ

7/24(水)

資産管理部会・青色申告会 新琴似支部

5年ぶりの日帰り研修旅行
久々の行事に笑顔溢れる

資産管理部会新琴似支部(高橋良隆支部長)、青色申告会新琴似支部(高橋良隆支部長)では、白老町のウポポイ(民族共生象徴空間)への合同日帰り研修旅行を実施し、会員16名と職員2名が参加しました。

「ウポポイ」では、アイヌ民族の伝統芸能上演を鑑賞。歌や踊り、口承文芸、楽器の演奏でアイヌの世界観や自然観を学び、施設と眺望の素晴らしさに感動しました。徳寿ファーム併設の「ファームレストランKANTO」で白老牛をいただいた後、「大漁番屋・虎杖浜」でタラコの詰め放題を楽しみ、三星銘菓の「よいとまけ」をお土産に、帰路につきました。

(宮田特派員)



ウポポイPRキャラクター「トウレツポん」と一緒に記念撮影。コロナ禍を経て、5年ぶりとなる日帰り研修旅行の開催となりました。多くの会員の皆さまにご参加いただき、何事もなく1日となりました。



波多野さんによる馬鈴薯収穫機での掘り起こし実演では、次々に土の中から出てくる馬鈴薯に、驚きの声と歓声が上がりました。



収穫作業の手順を説明する夢子さん

毎年、子どもたちの夏休みに合わせて開催される、石狩青年会議所主催の宿泊型体験学習事業「第32回いしかりふるさと探検隊」が行なわれ、石狩花畔地区組合員の波多野正輝さんが、馬鈴薯の収穫体験を受け入れました。収穫体験の説明を行なう波多野さんの長女でブランド野菜「YUMEYASAI」を生産する夢子さんの言葉に、参加した小学4～6年の子どもたち38名が真剣に耳を傾け、特に「1つの株から10個程のジャガイモが収穫できる」という説明には、そんなにたくさん!?と驚いた様子でした。子どもたちが掘り起こした馬鈴薯は、形もさまざま。互いが掘った馬鈴薯を比べながら、笑顔で収穫を楽しむ子どもたちで賑わいました。(梶特派員)

7/27(土)

石狩花畔地区組合員 波多野正輝さん 馬鈴薯 収穫体験の受け入れ 次々出てくる馬鈴薯に歓声



人参部会では、市況相場に左右されず安定した所得を確保できるよう、令和2年から業務加工業者向けに加工用の品種を栽培し契約販売しています。7月19日(金)に行なわれた現地検討会で、抜き取りした人参の生育状況を確認し、共撰開始日を決定しました。

人参の共撰が始まりました。今年は4月から6月まで発芽・生育とも順調でしたが、7月の干ばつの影響もあり、昨年より4日遅い開始となりました。人参共撰はJA北いしかりと事業連携を行なっており、今年度はJA北いしかり・当別地区の4名を含む生産者11名、作付面積は14ha。生食市場向け人参の撰果を皮切りに、8月中旬からは業務加工向け人参の撰果も始まります。販売先は主に道内外の市場および札幌市内の量販店、道外の加工業者で、10月末頃まで出荷を続ける予定です。(千田特派員)

7/29(月)

石狩ベジタブルファクトリー 人参 共撰開始！

札幌市農協役員 OB会(松下信一会長)では、会員17名・役員10名が参加し、ANAクラウンプラザホテル札幌にて第24回定期総会を開催しました。総会では事業報告・収支決算の他、新年交礼会の開催を盛り込んだ事業計画、旧JAいしかりとの合併による会則の一部改正など、提出された議案は全て満場一致で承認されました。総会後は懇親会が行なわれ、近況や思い出話など会話も弾み、新年交礼会での再会を約束し閉会となりました。

8/2(金)

役員OB会 定期総会を開催 懇親会で会話を弾ませる



役職員と談笑する役員OBの皆さん。



7/31(木)

青年部

エスコンで8JAがPR
青年部員が加工品販売



SAPPORO PRIDE
JA Sapporo Youth

青年部(大畑二郎部長)では、エスコンフィールドHOKKAIDOの販売ブースにてJAさっぽろの加工品のPRを行いました。

この取り組みは、「JAバンク北海道プレゼンツスペシャルナイター」の一環として、昨年に引き続き1日限定で実施されたもので、道内の8JAが参加。JAさっぽろからは青年部員2名と事務局2名が参加し、2万6千人を超える来場者に対して、JAさっぽろの加工品である「札幌黄たまねぎスープ」・「米粉ホットケーキミックス」のほか、青年部員が生産する加工品をPR販売しました。

大畑部長は「他JAと連携しながら、JAグループとしてこのようなPRを行なうことは非常に大事なことで感じています。これからも、青年部員と事務局が一丸となり、札幌圏の農業を盛り上げていきたいです」と話していました。



お揃いのユニフォームを着用し、15時から19時までPRを行いました。
左から、坂東副部長、大畑部長、厚別支部事務局の外石職員。

8/1(木)

出荷者協議会とれたてっこ清田
エスコンで札幌産野菜をPR
新鮮野菜が大人気！

出荷者協議会とれたてっこ清田(川瀬俊昭会長)では、エスコンフィールド内で野菜販売を実施し、生産者5名と職員3名が参加しました。

この企画は、清田区役所から出荷者協議会に打診があり実現したもので、とれたてっこ清田に加盟している組合員が生産した新鮮野菜をはじめ、ゆでとうきび(高橋ファーム)、ブルーベリー(天下農園)、ミニトマト(川瀬農園)、菌床椎茸(清田しいたけファーム)などを、清田区役所職員と一緒に販売しました。

夏休み中ということもあり、試合前からたくさんのお客様で賑わい、各種野菜を求める行列ができました。
(西嶋特派員)



参加した生産者の方々は、自身の販売店舗を持っている方や週末に各地のマルシェに出展されている方も多く、様々なPRに繋がりました。



写真(左)の日本ハムファイターズ「B・B」と(右)の清田区のマスコット「きよっち」が応援に駆け付けてくれました

8/5(月)

経営企画部

次期農業振興計画に係る
生産部会長の意見交換会

次期農業振興計画に係る、生産部会長の意見交換会が本店役員会議室において開催され、札幌・石狩、両地区の生産部会長11名と役員12名が出席しました。

この意見交換会は、次期地域農業振興計画の策定にあたり、地域農業の現状課題や両地区の作物生産が抱える問題等について聞き取りや意見交換を行なうことを目的として開催されました。生産部会長からは、作物生産の概況をはじめ、農業振興計画策定概要や組合員意向調査結果を踏まえた農産物生産に対する課題点などについての意見や要望が出されました。



札幌・石狩、両地区生産部会組織の、初顔合わせを兼ねた開催となりました。両地区の生産部会長が一同に会することで、合併効果の発揮と生産部会組織の活性化、および新生JAさっぽろブランドの構築に資することも本会の開催目的のひとつです。意見交換会終了後に開かれた懇親会では、意見交換会では話されなかった互いの地区の農業生産現場の話題やこれからのJAさっぽろの農業振興が話題となっていました。



お題は「フカヒレ」。平松課長(写真中央)が絵を担当しましたが、残念ながら正解ならず。難しいものですね〜。写真(左)は木村職員。

※生ドーナツの紹介は22ページ・にじいろ情報館「とれのさとからのお知らせ」に掲載しています。

平松課長と木村職員が「お絵かきですよ!!」に出演し、旬のとうもろこしの他、新商品の「生ドーナツ」をPR。モチモチのドーナツは、スタジオで試食した福永俊介アナウンサーからも好評でした。

6日 地物市場「とれのさと」

8/6(火)
7(水)
21(水)

JAさっぽろ直売所

STV「どさんこワイド179」出演

JAさっぽろ産の農産物・加工品をPR

STVで放送中の情報番組「どさんこワイド179」に

JAさっぽろ直売所の職員が出演し、

農産物・加工品のPRを行いました。



お題は「ひざまくら」。金職員(写真右)が絵を担当し、見事正解に導きました！写真(中央)は山本主任。

山本主任と金職員が、「お絵かきですよ!!」に出演。8月24日に開催される「収穫祭」のPRを行なったほか、スイカ割りの実演を行ないながら「サッポロスイカ」をPRしました。

7日 とれたてっこ西



21日 しろとれたてっこ生産者直売所

中川職員と谷越主任、大村職員が、玉葱をはじめとした旬の野菜や8月24日(土)に開催される「とうきび即売会」のPRを、約2分間にわたりに行ないました。



息ぴったりな3人の連携で、PRは大成功。「とうきび即売会」も大盛況となりました。写真(左)が中川職員、(中央右)が谷越主任、(右)が大村職員。

誰もが知る人気番組でのPRは、JAさっぽろの直売所や農産物を、多くの方に知っていただける良い機会となりました。今後もあらゆる媒体を通じて、JAさっぽろの農産物や農業の魅力を発信していきます。

理事会だより

第4回定例理事会

令和6年7月30日(火)午後1時00分より、本店・統括支店の各会議室において、Web会議による定例理事会が開催された。

●協議事項

1、令和5年度決算版ディスクロージャー誌について

記載内容が説明され、可決決定。尚、7月末までに当組合ホームページで開示すること、並びにペーパーレス化の取り組みの一環として、今年度より店舗および事務所への備え付けはしない旨が補足説明された。

2、「第31回JA北海道大会」組織討議について

令和6年11月20日(水)に開催される第31回JA北海道大会へ提案する3つの議案、組織討議の進め方、並びに各議案に対する修正要望等の意見集約方法が説明され、協議後、可決決定。

3、「宅地等供給事業実施要領」の一部改正について

宅地建物取引業法における報酬額規定の改正に伴う、補足事項の改正である旨が説明され、可決決定。

●報告事項

1、内部監査結果報告(令和6年度第1四半期)

2、令和6年度上期地区別懇談会資料等に係る質問・意見等の広報誌掲載について

3、反社会的勢力との取引排除に係る対応状況について

4、疑わしい取引の届出状況報告について

5、令和6年度第1四半期余剰金等運用実績報告

6、総体的なリスク量の報告について

7、「有価証券に係るリスクの量的管理」の報告について

8、「共同計算基本要領」の制定について

9、農作物の作況報告

10、6月末財務状況報告

11、6月末組合員加入・脱退状況報告および未済持分譲渡報告

12、7月の動静と8月の予定について

13、札幌協同振興(株)の第1四半期実績報告

(閉会・午後3時01分)

令和6年7月末業務実績 令和6年6月末業務実績

| JAさっぽろ DATA | 組合員数 | 正組合員 | 3,799名 | 3,823名 |
|-------------|---------|--------------|--------------|---------|
| | | 准組合員 | 34,774名 | 34,756名 |
| | 合計 | 38,573名 | 38,579名 | |
| | 出資金残高 | 73億8千7百万円 | 72億9千1百万円 | |
| | 販売取扱高 | 7億5千4百万円 | 3億6千2百万円 | |
| | 購買供給高 | 11億7千7百万円 | 9億1千万円 | |
| | 貯金残高 | 3,675億4千2百万円 | 3,713億7千4百万円 | |
| | 融資残高 | 1,076億9千7百万円 | 1,078億1百万円 | |
| | 共済保有高 | 6,350億1千1百万円 | 6,360億4千7百万円 | |
| | 施設建設取扱高 | 6千5百万円 | 3千4百万円 | |
| | 管理受託戸数 | 4,757戸 | 4,767戸 | |

令和6年9月2日(月)から 「貯金金利」・「短期プライムレート」が引き上げになりました

日本銀行による政策金利引き上げに伴う市場金利の動向を踏まえ、
下記のとおり改定いたしましたのでお知らせします。

1. 改定日 令和6年9月2日(月)

2. 改定内容

(1) 普通貯金、納税準備貯金、通知貯金、貯蓄貯金

| 改定前 | 改定後 | 改定幅 |
|--------|---------------|---------|
| 0.020% | 0.100% | +0.080% |

(2) 定期貯金(スーパー定期貯金、大口定期貯金)

| 期間 | 改定前 | 改定後 | 改定幅 |
|------|--------|---------------|---------|
| 1 か月 | 0.025% | 0.125% | +0.100% |
| 3 か月 | 0.025% | 0.125% | +0.100% |
| 6 か月 | 0.025% | 0.125% | +0.100% |

| 期間 | 改定前 | 改定後 | 改定幅 |
|-----|--------|---------------|---------|
| 1 年 | 0.025% | 0.125% | +0.100% |
| 2 年 | 0.025% | 0.125% | +0.100% |

その他の商品の適用利率については、当JAホームページにてご確認いただくか各支店へお問い合わせください。

(3) 短期プライムレート

| 改定前 | 改定後 | 改定幅 |
|--------|---------------|---------|
| 1.975% | 2.125% | +0.150% |

- 短期プライムレートに連動する他の基準金利(新長期プライムレート、住宅ローンプライムレート、当組合の定めるレート等)につきましても、同幅で改定いたしました。
- 上記改定日以降の新規お借入(書替を含みます)より適用させていただきます。
- 既存のお借入については、契約に定められた日より新利率を適用させていただきます。

※令和6年9月2日(月)時点の金利を掲載していますので、広報誌発行時には変更となる場合があります。

仮決算棚卸に伴う臨時休業について

仮決算棚卸のため、経済店・直売所・給油所は下記のとおり臨時休業いたします。
組合員の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくをお願いいたします。

令和 6年9月30日(月) 終日 臨時休業

〔経済店〕
丘珠資材センター 手稲経済店 篠路経済店
南経済店 清田経済店 石狩経済店

〔直売所〕
とれたてっこ西 地物市場「とれのさと」
とれたてっこ厚別

令和 6年10月1日(火) 午前 臨時休業

〔直売所〕 地物市場「とれのさと」
〔給油所〕 ホクレン八幡給油所
ホクレン花畔セルフ給油所

とれたてっこ南・しのろとれたてっこは、
両日とも通常営業いたします。

農業用廃プラスチック 受入日のご案内



「農ビ」と「農ポリ」の2種類に 分別してください

該当する廃プラスチックは、以下の方法でまとめ、スムーズに処理できるよう準備をお願いいたします。
受入については、例年通り指定された日時に受入場所へ廃プラを運搬してください。処理費用は個人負担となりますので予めご了承ください。

| 受入場所 | 受入日 |
|---------|-----------|
| 南経済店 | 10月31日(木) |
| 手稲経済店 | 11月1日(金) |
| 清田経済店 | 11月5日(火) |
| 経済部丘珠倉庫 | 11月6日(水) |
| 上篠路倉庫 | 11月7日(木) |

※石狩経済店(0133)66-4488 については、随時受付
していますので電話にてお問い合わせください。

〈まとめ方〉

- 農ビと農ポリに分ける。
農ビ：「農ビ」マークがついている、主にハウス、トンネル用農ビフィルム
農ポリ：ポリエチレン製(マルチフィルム・肥料袋・軟質灌水チューブ・ハウスバンド・シート・フレコンバック)、ポリオレフィン製
- 石や針金など硬い異物を取り除き、できるだけ土も落とす。
- 一束の重さは10~20kgを目安として梱包する。
※回収量によって個別回収の対応も可能ですので、お問い合わせください(別途料金)。

〈廃プラスチック類処理費(運搬・処分)〉

35円/kg(税別)

☆重量の目安 ※新品の場合の目安のため、水や泥で2~3割は増える見込みです。

| 農ビ(幅1.5m、厚さ0.1mm) | 肥料袋 | 農ポリ |
|-------------------|------------|------------|
| 100mで19.7kg | 100枚で9.0kg | 100mで8.3kg |

お問い合わせ

経済部営農販売課 (011) 782-8130
または各経済店へ



札幌の農畜産物PR！
女性部特製豚汁販売

ご家族みんなで！
玉葱詰め放題



さとらんど「たまねぎフェア 2024」

開催期間 9月21日(土)から3日間 10:00~16:00
青年部・女性部の出店は9月21日(土)です

- 女性部の豚汁は、11:00~の販売です。
- 青年部・女性部とも、商品がなくなり次第終了。

開催場所 さとらんど交流館
 札幌市東区丘珠町 519-1(第6駐車場をご利用ください)

「たまねぎフェア2024」へ、青年部と女性部がそれぞれ出店します。

青年部ブースでは、青年部員が生産した玉葱(規格外品)の詰め放題を実施し、女性部ブースでは、女性部員の皆さんが腕によりをかけて作る、札幌産農畜産物を使用した「特製豚汁」を販売します。

どちらのブースもフェア開催初日の21日(土)、1日限りの出店です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております！

青年部では「玉葱詰め放題」の実施、女性部では「特製豚汁」を販売！

青年部・女性部 さとらんど

「たまねぎフェア2024」に出店



皆さまのご来場を
お待ちしております！

札幌・石狩、札幌近郊産の新鮮な野菜を広くPRしようと、青年部が準備を進めています。

当日は、ポークスター(ほうれん草)、小松菜、札幌(札幌黄・F1)、レタスなどのほか、「北海道小林牧場物語のむヨーグルト」や「札幌黄たまねぎスープ」といった加工品も並ぶ予定です。

今年も

丹精こめて生産した
札幌圏の農畜産物を販売します！

青年部 オータムフェストに出店

9月25日(水)~9月29日(日)の5日間、JAさっぽろ青年部が2024 さっぽろオータムフェスト「産地とあなたをつなぐお肉じゅっ丁目」会場(大通西10丁目)内、ファーマーズマーケットに出店します。

さっぽろオータムフェストへの出店は今年で2年目。

2024 さっぽろオータムフェスト 産地とあなたをつなぐお肉じゅっ丁目ファーマーズマーケット

期間 2024年9月6日(金)~9月29日(日)

JAさっぽろ青年部の出店は25日(金)~29日(日)の5日間です

場所 大通西10丁目

時間 10:00~20:30(売り切れ次第、閉店)

JAさっぽろ青年部の出店は16:00までです



オータムフェスト
2024の詳細は
コチラから

10/12(土)
10:00 開店!

しのろとれたてっこ大収穫祭 開催

しのろとれたてっこ生産者直売所では、10月12日(土)に大収穫祭を開催します。
 近隣で収穫された新鮮な野菜が、いつもよりもさらにお買い得に?!
 皆さまのお越しをお待ちしております。



住所：北区篠路3条10丁目1-1 篠路支店隣接 **電話**：011-771-2130

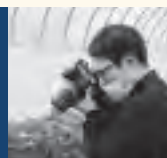
- 当日は混雑が予想されます。状況によっては入場制限をさせていただきます。
- 数に限りがありますので、売り切れの際はご容赦ください。
- 近隣駐車場の利用はご遠慮いただき、当JA敷地内の駐車場をご利用ください。

Column
My best shot



暑くないと良く育たないという空心菜。サウナに入っているかのような暑さの中、生産に励む姿へ、尊敬の念を込めての選出です。

Photo by 曾我 孝博
2020年からフリーランスのフォトグラファーとして主に札幌市内で活動。今年度も引き続き「虹の大樹」表紙と巻頭写真の撮影を担当します。



地物市場「とれのさと」オリジナル
味付きラムジンギスカン!

臭みがなく柔らかいラムジンギスカン。ラムは苦手…という方にもお召し上がりいただけるかも?

冷凍
1パック
500g
1,280円
(税込)

※価格は変動
の場合あり



地物市場「とれのさと」
石狩市樽川 120-3